

令和4年4月20日

各位

株式会社 高田工業所
 代表取締役社長 高田 寿一郎
 〒806-8567 北九州市八幡西区築地町1番1号
 コード番号 1966(東証スタンダード市場、福証)



異業種コラボで SDGs ～九州大学と共同研究契約を締結

「磯焼け海域における駆除ウニの陸上養殖」の事業化を検討開始

昨今の水産業界では、「海洋の磯焼け」が問題視されており、漁獲高の減少が漁業生産者にとって深刻な問題となるとともに、環境保護の観点からも解決すべき課題となっています。

この度、株式会社高田工業所（代表取締役社長：高田 寿一郎、以下「高田工業所」）は、国立大学法人九州大学（総長：石橋 達朗、以下「九州大学」）と「海洋の磯焼け」対策として、磯焼け海域における駆除対象ウニの陸上養殖を目的に、共同研究契約を締結しました。

併せて高田工業所は、これまでプラント事業で培った技術・ノウハウに九州大学が保有する養殖技術を掛け合わせた『次世代陸上養殖施設』を開発し、駆除したウニを商品化し、販売する養殖事業の検討を開始しました。

なお、当事業の検討を進めるにあたっては「宗像市・宗像漁業協同組合・株式会社資さん・グラノ24K・合馬観光たけのこ園」をパートナーとし、ご支援をいただきます。

更に、宗像市とは、SDGsが定める目標の達成に不可欠である「経済成長・社会的包摂・環境保護」の三側面の地域課題解決を図り、持続的に発展していくことを目的とした連携協定を締結する予定です。（締結予定日：令和4年5月下旬）

記

- 共同研究開始日 令和4年4月1日
- 共同研究テーマ 駆除されたムラサキウニの陸上水槽畜養技術開発とウニ駆除による藻場回復効果の検証
- 研究内容 ウニの飼育作業・身入り評価、畜養時の水質評価
- 事業化のスキーム

① 磯焼けの原因「駆除対象ウニ」を捕獲



磯焼け海域のウニは身が入っていないため、販売目的としたウニの捕獲が実施されていない

② 陸上で身入り不十分なウニを畜養



③ ブランドウニとして販売



④ ウニが減り海洋環境が再生



※水産資源の成長促進、CO₂吸収・固定

5. 各パートナーとの連携について



6. パートナーの概要

名称	九州大学	宗像市	宗像漁業協同組合
代表者 /	総長 石橋 達朗	宗像市長 伊豆 美沙子	代表理事組合長 桑村 勝士
本店所在地	福岡市西区元岡 744	宗像市東郷一丁目 1 番 1 号	福岡県宗像市鐘崎 778-5
設立年月日	明治 44 年 1 月	昭和 29 年 1 月	平成 15 年 4 月
事業内容	—	—	—

名称	株式会社資さん	株式会社グラノ24K	合馬観光たけのこ園
代表者 /	代表取締役社長 佐藤 崇史	代表取締役 小役丸 秀一	代表 富岡 修
本店所在地	北九州市小倉南区上葛原2-18-50	遠賀郡岡垣町大字手野 183	北九州市小倉南区大字合馬 1187
設立年月日	昭和 55 年 12 月	平成 7 年 2 月	平成元年 3 月
事業内容	うどん・そば・丼店	ウエディング・旅館・レストラン／ギフト・パン製造販売・果樹栽培／ハム・ソーセージ製造販売	飲食店・たけのこ販売

本件に関する問い合わせ先 : 株式会社 高田工業所 総務部長 副島 淳一
電話 (093)632-2631